

2022年度 北海道高校生平和大使3人が決定

連合北海道と北海道退職者連合は、長崎の高校生平和大使国連派遣委員会が国連欧州本部に高校生平和大使を派遣して、核兵器廃絶と世界平和を訴える取り組みに共感し、北海道からも高校生平和大使を送り出したいとして、2013年2月、北海道高校生平和大使派遣実行委員会を設置し、毎年高校生平和大使を選出してきました。

2022年度高校生平和大使派遣の取り組みは、3月16日第1回実行委員会を開催し、派遣に向けた支援カンパ活動や高校生1万人署名に対する支援活動を行うなど、若い世代に核兵器廃絶と平和運動を継承する取り組みについて確認しました。

5月22日に選考委員会を開催し、今年は33人と多数の応募でしたが、前日、当日に9人が辞退し24人の応募者から、作文、自己アピール、面接審査によって3人の平和大使を選出しました。また、「長崎行動」に参加する5人も決定しました。

5月28日記者会見を行い、実行委員会から峯後副実行委員長が代表してあいさつを行い、3人の平和大使を紹介し、それぞれ平和大使に選ばれた決意と抱負を述べました。

今年は北海道として10周年となることから、被爆ピアノコンサートを秋に全道5ヵ所、4市で開催します。今後、派遣支援カンパ、「高校生一



5月22日選考委員会

万人署名活動実行委員会」による署名活動への支援などを実施しますので、多くの方のご協力をお願いします。

第25代(北海道第10代)高校生平和大使



(写真左から)

いのまた あさみ
猪俣 愛紗美さん (登別明日中等教育学校2年)
さいとう あかりさん (北星学園女子高等学校3年)
よした さくら
吉田 桜さん (札幌聖心女子学院高等学校3年)



5月28日記者会見であいさつする峯後副実行委員長